

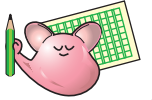
タンポポ
あの日をわすれないで
子どもたちの願いがタンポポの綿毛となって飛んでいき、明るい笑顔の花がたくさん咲きますように…。2011年3月11日、小学校の授業中に地震に襲われた子どもたちや、津波の様子、その後の避難所での日々などを描く。

たかこ
ぼくのクラスにやってきた、転校生の女の子。「たかこ」という名前なんだって。たかこは、自分の顔を扇で隠していたり、筆でノートをとったり、なんだか「いとをかし」な子で…。

キャベツがたべたいのです
「キャベツが食べた」と願うチョウチョたちがたどり着いた一軒の八百屋。話を聞いた八百屋のおじさんが作ってくれた特製ジュースを飲むと、チョウチョたちはたちまちおじさんになって…。切り抜いて作る指人形付き。

しげちゃん
「わたし、じぶんの名前、キライ！」男の子みたいな名前の子でしょっちゃんういやな目にあってる小学1年の女の子しげるは、お母さんに「もっとかわいい名前にかえてよ」と言いますが…。親の愛情が心に響く絵本。

木をうえるスサノオ
大昔に海をわたってやってきた、ひげもじゃもじゃの男・スサノオ。はげ山ばかりの紀州の山に木を植えようと、あごのヒゲをきゅっきゅつとぬいて、ぶうーつとふくと…。ゆかいな神さま・スサノオのお話。



うさぎの庭
自分の気持ちをうまく話せない修は、古い洋館に住むおばあさんとおあい、少しずつ変わってゆく…。少年とおばあさんの心の交流をあたたかく描く物語。



エレベーターは秘密のとびら
エレベーターでふしぎな体験をしたりせ。どうやらリセの住むマンションの「変なうわさ」は本当らしい。ナゾときに乗らだしたりせたちだが…。女の子3人のドキドキ・ワクワクが詰まったハートフル・ファンタジー。

男子☆弁当部
クラスのイケメン男子3人が、なぜか「弁当部」を結成！電子レンジでできるおかずだけで弁当コンクールに挑んだのは、熱〜い友情のためだった…。すぐできる、かんたんレシピつき。

ヤマネさん
お山にかえるまで
ヤマネは、体長およそ10〜13センチメートルしかなく、木と似た色をしている生き物です。長野県で「野生傷病鳥獣救護ボランティア」をしている自然写真家が、ヤマネの生態や特徴などを写真で紹介しています。

奇跡の一本松
大津波をのりこえて
2011年3月11日。津波に襲われた岩手県陸前高田市の高田松原で7万本もの松が流されたなか、たった1本残った松。人々を励ましている「奇跡の一本松」が、松原の歴史、何度も襲ってきた津波、そして復興を語る絵本。

ぼくはおじさん
16歳年上の兄に赤ちゃんが生まれるため、小6で「おじさん」になる大志は、それがイヤでイヤでしかたがない。しかも、声変わりの時期で、得意の剣道の気合いの音がうまくてなくて…。

リターン!
めんどくさがりだったイッキは、偶然出あったブーメランに夢中になる。やがて大会を目指して特訓するが…。手作りブーメランの面白さや競技ブーメランの迫力を描く物語。紙ブーメランの作り方も掲載。コピーして使う型紙付き。

「けんぼう」のおはなし
日本国憲法の大切さを訴えつけた作家・井上ひさしが、憲法への思いを子どもたちにやさしく語る。実際に小学生を前にして話した内容を絵本として再構成したもの。

教室 消えない虹
両親からの期待、離婚、妹の誕生、初恋、コンプレックス…。いつも笑っているあの子にも悩みがある。5年2組という社会で生きる子どもたちの心の成長と、絆を描いた物語。



宇宙がきみを待っている
国際宇宙ステーションに長期滞在した宇宙飛行士・若田光一さんが、大空にあこがれた子ども時代や、宇宙飛行士になって訓練を受けた日々、宇宙での生活などを紹介します。若田さんへの質問も掲載。

あの日、ブルームーンに。
誰かを好きになるのって、想像してたよりずっと軽やかで自然なことだったんだな。「早く卒業して、知り合いのいない高校に行きたい」と思っていた結愛は、金髪の男の子に、はじめての恋をした。

スウィング!
父親が亡くなった後、残された田んぼを耕す決意をする直。野球部のチームメンバーたちは直の決断に揺れる。中学最後の公式戦まであと2か月。「野球も田んぼも、本気でやる」仲間とともに直は全力で駆けぬける!

パンフキン!
模擬原爆の夏
身近にあっても見過ごしていた戦争の大きな傷あとを、夏休みの自由研究で調べてみると…。1945年、終戦の年に、原爆投下の練習のため模擬原爆・通称パンフキン爆弾が日本各地に落とされていた事実を小説で紹介す

心のおくりびと
東日本大震災復元納棺師
2011年3月11日、東日本大震災。津波がうばった母親の面影を、ひとりの女性が生前の姿にもどしていく。被災地にボランティアで入り、遺族の思いが動き出す瞬間を見てきた復元納棺師の記録。

夢うばわれても
夢と希望を断ち切れ、生きることは、挑戦だった。帰国後の日本での暮らしも、また挑戦…。挑戦とは、現実から逃げないこと。24年間の拉致体験と現在を語る。NHKB S「100年インタビュー」の内容をもとに単行本化。